

第 18 回炉物理部会総会の報告

1. 日 時 2002 年 9 月 15 日(土) 12:00-13:00
2. 場 所 いわき明星大学人文系 102 講義室(I 会場)
3. 議 事

[連絡事項]

(1) 部会報の発行について(山本(章)委員)

「炉物理の研究」第 54 号については、まもなく発刊される予定である。第 55 号については、目次案を作成して各執筆者と交渉中。

(2) 「炉物理夏の学校」開催報告(大杉副部長)

本年 7 月 29 日-31 日に茨城県北茨城市の「マウントあかね」で行なわれた「夏の学校」の開催報告とともに、収支決算報告がなされた。出席者は一般および学生が 46 名、講師が 8 名であった。講義内容は、ボルツマン方程式の原子炉への応用を初めとして、熱流動や金融工学への応用に関するものであった。収支決算で約 9 万円の余剰金が発生し、部会予算として役立てられることになった(資料配布)。

(3) 計算科学技術部会との関係について(竹田部長)

東京大学の矢川先生を部長として、表記部会が新設されることになった。スーパーコンピュータの応用などを中心に活動を行う。本部会との関連も深いので、興味がある方は是非参加してほしい旨の呼びかけがあった。

(4) 4 部会合同の大強度陽子計画への要望書(岩崎氏)

表記要望書の内容の概要が説明され、内容および提出することについて、基本的に了解された。4 部会合同でコメント等があれば、岩崎氏へ意見を出すことになった(資料配布)。

(5) 二法人統合化に対する要望書(竹田部長)

成合会長から、表記に関して要望事項があれば出すようにとの指示があったため、岩崎氏と部会幹事数名で案を作成した。これを炉物理部会からの要望として提出したい。最終的な提出先については、後日意見集約を行なうことになった。また、京大炉に対する要望も盛り込んで欲しいとの要請があったが、今回の要望書は二法人に限定することになった(資料配布)。

(6) 部会予算(案)(三澤委員)

財務委員会で、支部に対する補助金の見直しを行っており、来年度から余剰金のある部会に対しては補助金を支給しなくなる可能性がある。余剰金をなくす方向で予算編成を行なうべきという意見と、将来補助金制度そのものが打ち切りになった事態に供えて、節約すべきという意見が出された。また、部会予算を日韓合同セッションに使用することについても反対意見が出された。将来も部会財源の形で存続できるかどうかについては、見解の相違が見られた。部会予算編成方針については、部会員の意見集約を行なうことになった（資料配布）。

（7）企画委員会報告（山根委員、島津氏）

国際会議開催の際に支給される補助金の分配方法について見直しが行なわれており、点数制などの導入が検討されている。また、国内の原子力学会で国際セッション（英語使用）を実施する場合、部会主催か国際会議として扱うか議論が進められている。

（8）編集委員会報告（山本（敏）委員）

部会からの特集として、関本先生が主査となってまとめられた特集号「高温ガス炉の新展開」の原稿が完成し、特集号査読 WG からのコメントをもとに修正を完了したところである。近日中に学会事務局へ提出する予定。

（9）学術研究交流小委員会報告（小原委員）

本年 6 月の韓国光州の原子力学会で、日韓の炉物理・核データ部会員のメーリングリストを作成するという案が日本側から提出されたが、韓国側から返答がなく立ち消え状態になっている。フォローを続けてほしい旨要請があった。

（10）若手小委員会報告（巽委員）

炉物理夏季セミナーで、若手の会を開催したという報告があった。

（11）部会懇親会について（巽委員）

恒例の懇親会を当日 6:30 より「岩井」で開催することが通知された（資料配布）。

[審議事項]

（1）次期部会長候補について（竹田部会長）

大杉現副部会長が次期部会長に推薦され、拍手多数で承認された。

（2）次期夏季セミナー幹事について（竹田部会長）

島津氏が次期夏季セミナー幹事として推薦され、拍手多数で承認された。なお、開催予

定地は札幌郊外の定山溪温泉とのことである。

(3) 来年3月の日韓合同セッションについて(竹田部会長)

学会全体で日韓合同セッションを持ち、その一部として本部会が参加するという方向で検討が進んでいる。加速器ビームや核データ部会などは参加を表明。合同で開催すると、佐世保市から補助金が出るので、本部会も協力してほしいとの要請があった。会議の場では異論はなく、合同開催に本部会が乗る方向で検討することになった。また、開催準備に携わるWGに参加するメンバーについても後日決定する*。PHYSOR2002の時に韓国側と開催の相談を行なう予定。

(*付記：竹田、代谷、大杉、岡嶋、山本(敏)の5名に後日決定した)

(4) 部会の財務WGの結成について(竹田部会長)

表記WG委員として、岡嶋委員が任命され、承認された。